

- ◆ご使用の前にこの取扱説明書とPC-5A-2の施工説明書、住宅用分電盤に付属の説明書を必ずお読みの上、正しくお使いください。
- ◆交換時には電気工事士の資格が必要です。
- ◆この取扱説明書は必ず保管してください。

安全上のご注意

けがや事故防止のため、以下の点は必ず守ってください。



警告

- ◆感電や火災の原因となります。
不良工事は感電や火災の原因となります。
工事や修理は電気工事店にご依頼いただき、施工説明書を提示してください。



注意

- ◆けがのおそれがあります。
コントロール回路には、電気が自動的にON/OFFした場合、危険な状態になる電気機器は接続しないでください。
けがのおそれがあります。
- ◆感電や故障の原因となります。
本体表面の汚れは、乾いた布で拭き取ってください。
濡れた布や、薬品を使用すると感電や故障の原因となります。

特長と機能

特長

- ◆電気の使用量を常に監視し、電気の使いすぎによる全停電を、未然に防止します。
- ◆本体に接続された「インターホン」で電気の使用量をレベル表示するとともに、電気の使いすぎを音声でお知らせします。

機能

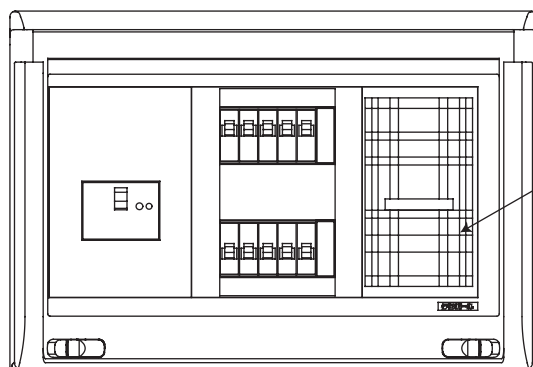
- 電気の使いすぎを音声でお知らせ
 - ◆電気の使用量が規定値を超えると、本体に接続された「インターホン」で電気の使いすぎを音声でお知らせします。
- ピークカット動作
 - ◆電気の使用量が規定値を超えた状態を継続するとコントロール回路に接続された電気機器を自動的にOFFし、全停電を未然に防止します。
- 復帰動作
 - ◆電気の使用量が規定値以下の状態を継続すると、ピークカット動作した電気機器は自動的にONします。

使用上のご注意

- ◆コントロール回路に接続可能な電気機器
 - ・リレー制御(2回路)
リレー定格の「20A, AC200V」を超えない電気機器
 - ・HA端子制御(2回路)
日本電気工業会規格JEM1427「ルームエアコン HA端子」に適合したJEMA標準HA端子-Aまたは  の表示を有する電気機器(HA機器2台)。
 - ・「CH1, CH2」がHA端子制御、「CH3, CH4」がリレー制御となります。
- ◆コントロール回路に接続する電気機器の選定
 - ・コントロール回路に接続する電気機器は施工店様とご相談の上選定してください。
 - ・電気使用量の大きい電気機器を選定してください。
 - ・自動的にON/OFFすると支障のある電気機器(パソコンなど)は接続しないでください。
- ◆設定について
 - ・契約電流値変更の際、契約電流値(電流制限器または主幹漏電遮断器)に合わせて本装置の設定を変更する必要があります。施工店様にご相談ください。
 - ・設定電流スイッチが設定電流以外の位置(「●」位置または設定値の中間位置で止まっている)に設定された場合、電源LEDがゆっくりと点滅し、20A設定の動作をします。
- ◆その他
 - ・電気機器には、電気が復帰しただけでは、動作をしないものがあります。このような場合は、復帰動作後に電気機器を操作して電源を入れなおしてください。
 - ・コントロール回路で短絡事故が起きた場合、本装置が正常に動作しないことがあります。

各部の名称

※本体およびリレーボックスの詳細につきましては、施工説明書をご参照ください。



住宅用分電盤

本体(PC-5PA-2)と
リレーボックス(PC-5R)
が内部にあります。

動作説明

負荷率 I (%) (* 1)		動 作		コントロール回路の手動 ON (* 3)
電流制限器あり	電流制限器なし	音声メッセージ (* 2)	コントロール回路自動 OFF	
100 < I ≤ 110	90 < I ≤ 100	3 分ごと	なし	可
110 < I ≤ 120	100 < I ≤ 120	10 秒ごと	45 秒で OFF	不可
120 < I ≤ 140	120 < I ≤ 140	5 秒ごと	15 秒で OFF	
140 < I	140 < I	5 秒ごと	2 秒で OFF	

* 1 負荷率とは、検出された電流値を設定電流値に対する比率で表すことをいいます。

* 2 本体と接続された「インターホン」から、音声メッセージを出力します。

* 3 電気を使いすぎている場合、コントロール回路に接続された電気機器のスイッチは ON できません。
(HA 端子制御の場合、ON するとすぐに OFF します)

◆ ピークカット動作・復帰動作

ピークカット動作は次の順序で行われます。

- ① 定格電流の 110% (電流制限器なしの場合は 100%) を超えると CH1 の電気機器を OFF します。
- ② CH1 の電気機器を OFF しても、定格電流の 100% (電流制限器なしの場合は 90%) 以下にならない場合、CH2 → CH3 → CH4 の順に電気機器を OFF します。

復帰動作は次の順序で行われます。

- ① 復帰電流値 (表 1) 以下の値を約 60 秒間継続すると CH4 の電気機器 (または最後にピークカット動作した電気機器) を ON します。
- ② CH4 の電気機器が ON した後、定格電流の 100% (電流制限器なしの場合 90%) 以下の場合、CH3 → CH2 → CH1 の順に電気機器を ON します。

注. ピークカット動作は「CH1 → CH2 → CH3 → CH4」、復帰動作は「CH4 → CH3 → CH2 → CH1」の順に動作します。
電気機器を接続していない場合や、運転していない場合、動作をスキップする場合があります。

◆ ピークカット動作、復帰動作のフローチャート例

(コントロール対象の回路「CH1, CH2, CH3, CH4」が全て接続されており、「CH1, CH2, CH3, CH4」が全てピークカット動作、復帰動作を行った場合のフローチャート)

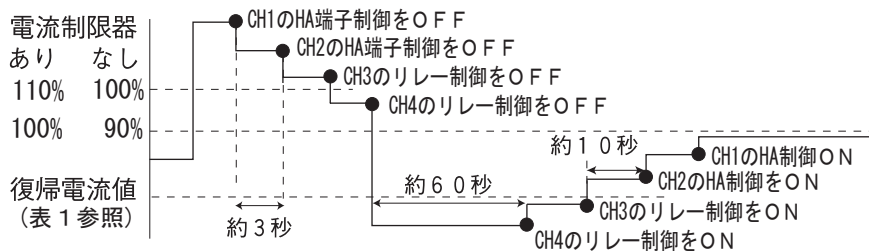


表 1 復帰電流値

定格電流値	復帰電流値 電流制限器	
	あり	なし
20 A	10 A	8 A
30 A	21 A	18 A
40 A	32 A	28 A
50 A	42 A	38 A
60 A	52 A	48 A
75 A	63 A	63 A
100 A	88 A	88 A

故障かな? と思ったとき

修理を依頼される前に、もう一度次の点をお調べください。

現 象	原因・点検事項	処 置
コントロール回路に接続されている電気機器が使用できない。	◆コントロール回路の制御中か、電気を使いすぎている可能性があります。	・使用中の電気機器のスイッチを OFF してください。 動作の詳細については、動作説明をご参照ください。
	◆本装置の故障か誤配線の可能性があります。	・施工店様にお問い合わせください。
	◆電気機器の故障か、コンセントの抜けている可能性があります。	・電気機器メーカー様にお問い合わせください。 ・電気機器をコンセントに接続してください。
復帰動作後、電気機器等が切れたままになる。 (自動復帰しない)	◆電気機器には、電気が復帰しただけでは、動作しないものがあります。	・復帰動作後に、電気機器を操作して電源を入れなおしてください。
繰り返し、ピークカット動作する。	◆定格電流値に近い電気が使用された状態が続いている可能性があります。	・使用中の電気機器のスイッチを OFF してください。
	◆設定電流値が 20A 設定 (本体の電源 LED がゆっくり点滅) になっている可能性があります。	・本体の電源 LED を確認してください。ゆっくり点滅している場合は、20A 設定になっていますので、施工店様にお問い合わせください。
電流制限器または、主幹漏電遮断器が切れ、全停電になる。	◆本装置が全てのコントロール回路に接続された電気機器の運転を停止しても、契約電流以上の電気を使用している可能性があります。	・使用している電気機器のスイッチを OFF した後、再度電流制限器または、主幹漏電遮断器のスイッチ ON にしてください。
	◆契約電流と本装置の設定電流値が合っていない可能性があります。	・施工店様にお問い合わせください。
電流制限器が切れ、全停電になる。	◆電流制限器あり・なしスイッチが「なし」になっているおそれがあります。	・施工店様にお問い合わせください。
本体と接続された「インターホン」が正常に動作しない。	◆誤配線の可能性があります。	・施工店様にお問い合わせください。
	◆「インターホン」の故障の可能性があります。	・「インターホン」のメーカー様にお問い合わせください。

「過電流警報機能付インターホン」を、本文中では「インターホン」と記載しております。

商品および取扱説明書の内容についてご不明な点がございましたら、弊社技術問い合わせ窓口までお問い合わせください。

広島市南区大州 3-1-42

テンパール工業株式会社
http://www.tempearl.co.jp/

技術問い合わせ窓口

TEL (082) 287-9110 FAX (082) 283-4534

受付時間 9:00~17:30

[月曜日~金曜日(祝・祭日、弊社休業日を除く)]